



練習の成果を発揮した鼻ぐり井手祭

和気香風

11月17日(日)に開催された「鼻ぐり井手祭」。そこで、南小の子どもたちが活躍する場を提供していただきました。

馬場桶の獅子舞は荘厳かつ華麗で、歴史の重みを感じさせてくれました。ステージの正面で鑑賞していた子どもたちに、迫力ある獅子舞の洗礼もあり、びっくりしていた子もいました。

次に、3・4年生による音楽劇。鼻ぐり井手ができるまでの様子を劇と音楽で立派に表現していました。3・4年生は、「ボランティアガイド養成講座」を受けて、この日のために9月から練習を重ねていました。毎日、音楽室で自主練習をしていた子どもたち。その成果が見事に発揮されたひと時でした。

最後に5・6年生によるボランティアガイド。訪れた大人の方々に、鼻ぐり井手の歴史や魅力を堂々と説明することができました。

ふるさとのことを誇りに思う子どもたちが立派に育っています。



荘厳かつ華麗な、伝統ある
馬場桶の獅子舞



3・4年生による音楽劇



練習の成果を存分に
発揮してくれました!



5・6年生によるボランティアガイド



大人を相手に、手作りの冊子で、井手の歴史や仕組み、魅力を紹介！



外国人親子にも堂々と説明していました！



新聞やテレビの取材も受けていました！
それだけ注目度が高いこと！



渡邊元校長先生も子どもたちの頑張りを応援しに来てくださいました。子どもたちは、相手が誰だかわかっていませんが(^o^)

過去から現在まで、脈々と続く流れの如く、その伝統と文化を受け継いでいる子どもたち

